

# 令和6年度 卒後研修 受講者募集案内

## 注意事項

1. 費用は、受講料（1講座につき）本会正会員，準会員 15,000 円／非会員 50,000 円 および実習材料費（各講座ごとに異なります）となります。
2. 申込締切後（当選後）は、取消し（キャンセル）はできません。欠席の場合でも受講料 および実習材料費をご負担いただきますのでご了承ください。
3. 原則，昼食のご用意はありません。但し，ランチョンセミナー付きの講座については，昼食のご用意がありますので，3 ページ以降の卒後研修実施内容および当選（開催）通知をご確認ください。



ここから研修会のお申し込みができます

# 目 次

卒後研修受講者募集のご案内 .....	1
卒後研修 申込書 .....	1
卒後研修実施 日程 .....	2
卒後研修実施 内容（各大学4講座ずつ） .....	3
1. 東京歯科大学 .....	3
2. 日本歯科大学生命歯学部 .....	5
3. 日本大学歯学部 .....	7
4. 東京医科歯科大学歯学部 .....	9
5. 昭和大学歯学部 .....	11

## ○ 卒後研修開催日カレンダー ○

※太枠の○-○は申込番号となり、研修内容の詳細は2ページ以降をご覧ください。

申込番号 東歯大：1-○ 日歯大：2-○ 日大：3-○ 医歯大：4-○ 昭和大：5-○

### 6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
1-1 5-1						
30						
1-2						

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
				4-1		
7	8	9	10	11	12	13
2-1						
14	15	16	17	18	19	20
2-2				2-3		
21	22	23	24	25	26	27
				3-1		
28	29	30	31			

### 8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				3-2		
4	5	6	7	8	9	10
1-3				3-3		
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
5-2				3-4		
25	26	27	28	29	30	31
1-4						

### 9月, 10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
5-3						
8	9	10	11	12	13	14
2-4						
15	16	17	18	19	20	21
5-4				4-2		
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
4-3						
6	7	8	9	10	11	12
				4-4		

## 卒後研修受講者募集のご案内

1. 研修時間 午前10時～午後5時
2. 申込期間 令和6年4月1日（月）～5月17日（金）まで ※定員超過の講座は抽選。  
なお、定員未滿の講座は5月31日（金）まで申込みを受けますので、お問合わせ下さい。
3. 申込方法 下記QRコードよりお申込み下さい。または、下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。  
本研修は、本会公式アプリ「都歯オンライン研修」からも申込ができます。  
スマホより「都歯オンライン研修」アプリをダウンロードの上、お申込み下さい。
4. 費用 受講料（1講座につき）本会正会員，準会員15,000円／非会員50,000円  
および実習材料費（各講座ごとに異なります）
5. 支払方法 本会から、受講料および実習材料費の払込票を当選（開催）通知と併せて送付しますので、コンビニより6月14日（金）までに必ず納入下さい。（振込み手数料は本会負担のため無料）
6. 受講取消 申込締切後（当選後）は、取消し（キャンセル）ができません。欠席の場合でも受講料および実習材料費をご負担いただきますのでご了承下さい。欠席する場合、以下のお問合せ先にご連絡下さい。
7. 日歯生涯研修 一日受講した場合、特別研修（10単位）に加え受講研修（12単位）に該当します。
8. 昼食 原則、昼食の用意はありません。但しランチョンセミナー付きの講座については、昼食の用意がありますので、3ページ以降の卒後研修実施内容および当選（開催）通知をご確認下さい。
9. お問合せ先 公益社団法人 東京都歯科医師会・学術課  
〒102-8241 東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館3階  
TEL. 03-3262-1149/FAX. 03-3262-4199



公益社団法人 東京都歯科医師会・学術課 行  
FAX. 03-3262-4199

### 令和6年度 卒後研修申込書

ふりがな			〒 -
氏名	<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 準会員 <input type="checkbox"/> 非会員	医療機関住所	
地区 <small>（正会員のみ記入）</small>	歯科医師会		
医療機関電話	— —	医療機関名	

1. 受講希望の申込番号・開催日をご記入下さい。
2. 申込講座数に制限はありませんが、同一日に複数開講の場合、1講座のみの申込みとなります。
3. 記載の氏名・所属地区名のみ担当講師に提供し、受講者名簿は研修当日に配布いたします。

	申込番号	開催日		申込番号	開催日
1講座	—	月 日	10講座	—	月 日
2講座	—	月 日	11講座	—	月 日
3講座	—	月 日	12講座	—	月 日
4講座	—	月 日	13講座	—	月 日
5講座	—	月 日	14講座	—	月 日
6講座	—	月 日	15講座	—	月 日
7講座	—	月 日	16講座	—	月 日
8講座	—	月 日	17講座	—	月 日
9講座	—	月 日	18講座	—	月 日

## 卒後研修実施日程

(開催日順・敬称略)

申込番号	開催日	研修テーマ	大 学	講 師	実 習 材料費
1-1	6月23日(日)	口腔外科の基本手技と臨床解剖を VRと解剖実習で体験して見直そう	東京歯科大学	片倉 朗 教授	3,000円
5-1	6月23日(日)	知っておくべきマウスピース矯正の基礎からその限界まで	昭和大学歯学部	榎 宏太郎 特任教授 中納 治久 教授	20,000円
1-2	6月30日(日)	臨床解剖の重要性を再確認する： 解剖標本・頭蓋骨模型を手にとって体感する基礎と臨床の接点	東京歯科大学	阿部 伸一 教授	2,000円
4-1	7月4日(木)	TMDU 式 摂食嚥下リハを学ぶ！！	東京医科歯科大学	戸原 玄 教授	10,000円
2-1	7月7日(日)	最新のインプラント治療 ガイドッドサージェリーによるインプラント手術の最前線	日本歯科大学	柳井 智恵 教授	20,000円
2-2	7月14日(日)	デジタル時代の到来！これからの歯冠修復は何が変わる？ 形成・印象・材料選択のポイント	日本歯科大学	新谷 明一 教授	12,000円
2-3	7月18日(木)	なぜ歯周外科がうまくいかないのか？ ～歯周組織再生療法のためにも基本的な手技を見直す～	日本歯科大学	仲谷 寛 教授	20,000円
3-1	7月25日(木)	コンポジットレジン修復の理論と臨床テクニック	日本大学歯学部	宮崎 真至 教授	15,000円
3-2	8月1日(木)	軟質裏装材による下顎高度顎堤吸収症例への対応	日本大学歯学部	飯沼 利光 教授	20,000円
1-3	8月4日(日)	小児の外傷 外傷歯への対応と咬合誘導を含めた管理まで	東京歯科大学	新谷 誠康 教授	15,000円
3-3	8月8日(木)	必見！エビデンスから得られた最先端メタルフリー修復 ～症例選択から接着技法まで～	日本大学歯学部	小峰 太 教授	15,000円
5-2	8月18日(日)	下顎総義歯難症例への対応	昭和大学歯学部	古屋 純一 教授	18,000円
3-4	8月22日(木)	顎関節診療の正しい知識と最適なマネージメント	日本大学歯学部	新井 嘉則 教授 野間 昇 教授	7,000円
1-4	8月25日(日)	パーシャルデンチャーをマスターして勝ち残ろう！！ ～クラスプ義歯からマグネット義歯まで～	東京歯科大学	山下 秀一郎 教授	13,000円
5-3	9月1日(日)	ベーシックエンドを極める	昭和大学歯学部	鈴木 規元 教授	20,000円
2-4	9月8日(日)	エックス線診断に基づく歯内療法	日本歯科大学	北村 和夫 教授 河合 泰輔 教授	20,000円
5-4	9月15日(日)	インプラントトラブルのリカバリーと予防策	昭和大学歯学部	宗像 源博 准教授	20,000円
4-2	9月19日(木)	歯周治療における Er:YAG レーザーの応用	東京医科歯科大学	青木 章 教授	15,000円
4-3	9月29日(日)	エビデンスに基づくベーシックエンド + $\alpha$	東京医科歯科大学	興地 隆史 教授	20,000円
4-4	10月10日(木)	はじめてみよう！ デジタルデンチャー・インプラントオーバーデンチャー (IOD)	東京医科歯科大学	金澤 学 教授	10,000円

※ 受講料 (1 講座につき)：本会正会員，準会員 15,000円 / 非会員 50,000円

※ 実習材料費：各講座ごとに異なります

※ 申込締切後 (当選後) は，取消し (キャンセル) はできません。欠席の場合でも受講料および実習材料費をご負担いただきますのでご了承下さい。

※ 開催場所，事前提出物，当日持ち物等の詳細については，当選 (開催) 通知にてご案内致します。

# — 卒後研修実施内容 —

## 1. 東京歯科大学

### ◎口腔病態外科学講座 申込番号：1-1

1. 期 日 令和6年6月23日（日）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 口腔外科の基本手技と臨床解剖をVRと解剖実習で体験して見直そう  
内容 (1) 埋伏歯の抜歯、歯根端切除術等の基本術式と器具の使い方（講義）  
(2) 日常臨床に必要な口腔外科手術をVRゴーグルで三次元体験して再確認する（実習）  
(3) 御遺体の実習で注意しなければならない臨床解剖を体得する（実習）  
(4) 解剖標本室の見学（実習・見学）
3. 研修の特徴 臨床において口腔外科処置の基本手技を修得してスキルアップすることは必要ですが、先生方のクリニックでそのための症例と時間を確保することは困難だと思います。適切な術式と器具の選択は治療時間の短縮と安全向上に繋がります。近年は医療の中でもデジタルテクノロジーの活用が進み、口腔外科では術前のシミュレーションやガイドサージェリーを使用し手術の精度向上に寄与してきます。さらに複雑な解剖学的構造の学修に応用され卒前・卒後教育にも使われています。  
今回の研修では、日常的な口腔外科手術の基本術式と使用する器具の再確認、仮想空間を体験できるVRゴーグルを使用して手術体験、御遺体による実習と標本室の見学による臨床解剖の再確認を予定しています。これらを通して先生方が日常で行なう埋伏歯の抜歯をはじめとした口腔外科の手技と知識のスキルアップを図ります。
4. 実 習 ①日常的な口腔外科手術の基本術式と使用する器具の再確認（講義）  
②VRゴーグルによる口腔外科手術の3次元的体験（実習）  
③御遺体による臨床解剖の確認（実習）・解剖標本室の見学（見学）
5. 実習材料費 3,000円
6. 担当者 片倉 朗教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2702, 2798

### ◎解剖学講座 申込番号：1-2

1. 期 日 令和6年6月30日（日）午前10時～午後5時
2. 研修テーマ 臨床解剖の重要性を再確認する：  
解剖標本・頭蓋骨模型を手にとって体感する基礎と臨床の接点  
内容 (1) 顎関節の機能解剖  
(2) 無歯顎治療のための機能解剖学  
(3) 口腔内小手術のための臨床解剖  
(4) 育成系歯科医療（矯正、小児歯科）のための機能解剖  
(5) 学校歯科の中で、歯科医師が指導すべきことを考える  
(6) 高齢者の摂食・嚥下：フレイルになるメカニズムと防止法
3. 研修の特徴 東京歯科大学解剖学講座では、口腔内小手術、インプラント治療の際に必要な《臨床医が知らなければならないチェックポイント》をかねてより提唱してきました。チェックポイントを理解するための重要な項目として、顎骨の歯牙喪失後の形態変化によって顎骨周囲、顎骨内部の神経、血管、筋、唾液腺組織など軟組織の位置関係が、口腔内からどのような部位に位置するように変化するのかについて解説します。安全・確実に口腔内小手術、インプラント治療を行なうために必須の知識です。  
さらに、講義と解剖学実習室における標本見学（実際に手に取って観察可能です）を組み合わせた方式で行ないます。そして3次元的に臨床解剖学的事項に関する理解を深めていただき、十分な質問時間を標本見学時に設定し、先生方の日頃の臨床上のご質問を、解剖標本をお示ししながら回答させていただきます。この方式で、顎関節・補綴治療・育成系歯科医療・高齢者の摂食嚥下・オーラルフレイルに関しての解説と実習を進めていきます。
4. 実 習 解剖実習室へ移動して、標本を手にとって理解を深める実習
5. 実習材料費 2,000円
6. 担当者 阿部 伸一教授および講座員
7. 受講定員 45名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2201, 2298

◎小児歯科学講座 申込番号：1-3

1. 期 日 令和6年8月4日(日) 午前10時～午後5時  
2. 研修テーマ 小児の外傷 外傷歯への対応と咬合誘導を含めた管理まで

- 内 容 (1) 小児の外傷歯への考え方(講義)  
(2) 乳歯・幼若永久歯外傷への対応(講義・実習)  
(3) 乳歯の早期喪失時に必要な咬合誘導(講義)  
(4) 可撤(床型)保険装置の製作・調整(講義・実習)  
(5) 外傷に関する処置の保険算定(講義)  
(6) 外傷した幼若永久歯の長期管理(講義)

3. 研修の特徴 臨床で小児の外傷に出会う機会は多いと思います。受傷状態は千差万別で対応は状況により大きく異なります。今回の研修では乳歯、幼若永久歯の受傷直後の対応だけでなく、その後の管理についても考えていきたいと思います。乳歯を外傷で失った症例では、咀嚼に影響があり機能回復に義歯が必要な場合は、小児義歯として保険での算定が可能です。しかし小児では、成人の義歯とは違う考え方や調整が必要になります。さらに破折した幼若永久歯への対応は、その後の患者の人生に大きく影響を与えます。適切な対応を行なうことが良好な予後につながります。

今回の研修では実習を通してこの点の理解を深めていただきたいと思います。実習で用いる装置はそのまま患者説明に使用することができるもので、これをお持ち帰りいただきますので、ご活用いただきたいと思います。また受傷時に適切な対応をしても、その後の管理に問題があれば、重大な問題が起きることもあります。外傷歯には長期にわたる管理が必要で、そのポイントについてお話ししたいと思います。

4. 実 習 ①可撤(床型)保険装置の製作・調整  
・可撤(床型)保険装置の調整、保険装置に用いる維持装置の製作  
②幼若永久歯破折歯への対応  
・クラウンフォームを用いた歯冠修復

5. 実習材料費 15,000円

6. 担当者 新谷 誠康教授および講座員

7. 受講定員 45名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2902, 2998

◎パーシャルデンチャー補綴学講座 申込番号：1-4

1. 期 日 令和6年8月25日(日) 午前10時～午後5時  
2. 研修テーマ パーシャルデンチャーをマスターして勝ち残ろう!!

- 内 容 ～クラスプ義歯からマグネット義歯まで～  
(1) 局部床義歯概論(講義)  
(2) 義歯設計の具体的手順(講義)  
(3) 義歯調整のヒント(講義)  
(4) サベイヤーの使用法(実習)  
(5) 研究用模型へのレジン床義歯設計記入(実習)  
(6) 磁性アタッチメントの使用法(実習)

3. 研修の特徴 「先生！名医だねー！」と言われたくないですか？

お陰様で昨年大変ご好評頂いた「名医になれるパーシャルデンチャーの設計」を、今年もパワーアップして開催致します。奥義を究めるチャンス到来です。昨年定員オーバーで参加頂けなかった先生方、お待たせ致しました。パーシャルデンチャーの設計は非常に面倒のかかる作業です。多くの先生が歯科技工士さん任せになっていませんか？結果的に出来上がってくる義歯は画一的であり、その患者さんの口腔内に最適な設計にはなっていません。同じ欠損様式であっても、設計は千差万別であって良いはずです。面倒がらずに一手間かけて下さい。今までとは見違えるほど安定した義歯が出来上がるはずですよ。そんなヒント満載の研修会です。

保険義歯から自費対応の義歯まで、さらに磁性アタッチメントを応用した義歯など、この研修では明日からの臨床にすぐに役に立つ内容を補綴専門医がわかりやすく、凝縮してお伝えします。

研修終了時には、皆さん「名医、になれますよ！」

4. 実 習 ①サベイヤーの使用法  
②研究用模型へのレジン床義歯設計記入  
③磁性アタッチメントの使用法

5. 実習材料費 13,000円

6. 担当者 山下 秀一郎教授および講座員

7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2608, 2698

## 2. 日本歯科大学生命歯学部

### ◎附属病院 口腔インプラント診療科 申込番号：2-1

1. 期 日 令和6年7月7日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ 最新のインプラント治療 ガイデッドサージェリーによるインプラント手術の最前線  
内 容 (1) インプラント治療におけるデジタルソリューションの応用(講義)  
(2) ガイデッドサージェリーの概論(講義)  
(3) ガイデッドサージェリーの臨床(講義)  
(4) サージカルガイドシステムによる治療計画の手順(講義)  
(5) インプラント埋入シミュレーション(実習)  
(6) ガイデッドサージェリーによるインプラント埋入(実習)
3. 研修の特徴 本研修の最も大きな特徴は「ガイデッドサージェリーの治療計画立案およびインプラント埋入手術」を体験できることです。  
近年、デジタルインプラントロジーは飛躍的な進歩を遂げています。インプラント治療を安全かつ適正に行なうためにはデジタルツールの応用は必要不可欠です。補綴トップダウントリートメントによるデジタルシミュレーションのプランニング、ガイデッドサージェリーなど、最新技術を導入することでより安全かつ正確な埋入手術を行なうことができます。  
講義では、ガイデッドサージェリーの概論と臨床を解説するとともに、実習では、デジタルシミュレーションによるプランニングおよびガイデッドサージェリーによるインプラント埋入の外科手技を修得して頂きます。
4. 実 習 ①CT画像を用いたデジタルシミュレーションの実習  
②ガイデッドサージェリーによるインプラント埋入の実習
5. 実習材料費 20,000円
6. 担 当 者 柳井 智恵教授および医局員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2609, 2698

### ◎歯科理工学講座 申込番号：2-2

1. 期 日 令和6年7月14日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ デジタル時代の到来！これからの歯冠修復は何が変わる？  
形成・印象・材料選択のポイント  
内 容 (1) デジタル時代の歯冠修復コンセプト(講義)  
(2) デジタルMI修復の最前線～オクルーザルベニアの概要と臨床～(講義)  
(3) デジタル修復の材料選択(講義)  
(4) 口腔内スキャナーによる光学印象とCAD/CAMを用いた修復装置の設計(実習・デモ)  
(5) 口腔内サンドブラスター、推奨ダイヤモンドポイントの使用感(実習併設デモ)  
(6) 口腔内スキャナーの現状と未来への展望(講義)  
(7) CAD/CAM時代の接着～基礎と臨床でのポイント～(講義)
3. 研修の特徴 口腔内スキャナーが保険収載されました。今までの代表的なデジタルデンティストリーはCAD/CAMが中心であり、これは鑄造に変わる修復装置の製作方法としてラボサイドを席捲してきました。これまで我々はCAD/CAMに適した支台歯形成を求められてきましたが、口腔内スキャナーを含めた製作ステップには馴染みが少なく、新たな対応が求められます。  
また、歯科治療の基本概念となりつつあるMIを考慮すると、歯質欠損に対し最小限の削除量で対応できる歯冠修復の知識も必要となります。近年、最小限の介入で歯冠修復が可能な次世代の部分被覆冠として“オクルーザルベニア”に注目が集まっています。オクルーザルベニアは口腔内スキャナーやCAD/CAM技術との相性も良く、これから主流となる歯冠修復法です。  
そこで、本研修ではチェアサイドまで到来したデジタル化に対応すべく、口腔内スキャナーを用いた印象とデジタルワークスアップを経験していただくとともに、デジタル技術を臨床で使用する際のポイントについて紹介させていただきます。
4. 実 習 ①作業用模型の口腔内スキャナーによる光学印象  
②接着前処理法と推奨ダイヤモンドポイントのハンズオン  
③CAD/CAMによる補綴装置の設計、切削加工にて製作された修復装置の確認
5. 実習材料費 12,000円
6. 担 当 者 新谷 明一教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2603, 2698

◎附属病院総合診療科3 申込番号：2-3

1. 期 日 令和6年7月18日(木) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ **なぜ歯周外科がうまくいかないのか？**  
～歯周組織再生療法のためにも基本的手技を見直す～  
内 容 (1) 歯周外科の基本的手技の要点(講義)  
(2) 歯周組織再生療法の注意点(講義)  
(3) 歯周外科の実践手技(ブタ下顎骨実習)  
(4) 日常臨床で歯周外科を行う際の注意点(講義)
3. 研修の特徴 近年、歯周外科は、顕微鏡を併用するMIST、M-MISTといった高度なスキルを要する術式が次々と報告されています。しかし、これらの術式は、歯周外科初心者がいきなり行なえるものではありません。実際、歯周外科にトライしてみると、歯間乳頭の挫滅、ちぎれる等のトラブルに遭遇することも珍しくないかもしれません。  
そこで本研修では、歯周外科を行なってみたが思うように歯肉弁の取り扱いが行なえなかった方、歯周外科をこれから行なってみたいと思う方々に焦点を当て、歯周外科の失敗しやすい点を理解することで、基本である改良型ウイドマン法の手技を再考し、その上で歯周組織再生療法(リグロス®)の手技へとつなげていきたいと思えます。ブタ下顎骨を用いた実習を通して、歯肉弁をきれいに形成する要点や器具の使い方等を体感して、歯周外科の基本手技を習得することで、歯周治療の幅を広げるステップとしていただきたいと思えます。
4. 実 習 ブタ下顎骨を用いて通常のフラップ手術から歯周組織再生療法(リグロス®)の基本手技を習得します。
5. 実習材料費 20,000円
6. 担 当 者 仲谷 寛教授および医局員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2504, 2598

◎附属病院総合診療科1, 歯科放射線学講座 申込番号：2-4

1. 期 日 令和6年9月8日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き
2. 研修テーマ **エックス線診断に基づく歯内療法**  
内 容 (1) エックス線画像診断のポイント(講義)  
(2) 画像診断を生かした歯内療法の実際(講義)  
(3) 上下大白歯透明根管模型を用いた根管形成(実習)  
(4) デンタルエックス線撮影(実習)  
(5) 微膨張性シーラーを用いた根管充填(実習)
3. 研修の特徴 講義では、歯内療法を行う上での画像診断のポイントと画像診断を活かした歯内療法の実際について臨床例を交えて解説いたします。  
実習では、歯冠付きの上顎第一大臼歯と下顎第二大臼歯槌状根の透明根管模型を用います。術前、根管長測定、根管充填後の各ステップで頰側と近心の2方向からデンタルエックス線撮影を行い、各自のモニターで観察しながら実習を行ないます。  
根管形成は、本年国内発売されるNi-Ti ファイル(HyFlexOGSF シークエンス)を用いて、いち早く行なっていただきます。本ファイルシステムは彎曲根管を追従した根管形成が可能です。  
従前のシーラーは収縮するため加圧が必要でした。しかし、現在は微膨張性のシーラーの出現により、時間のかかる加圧の必要がなくなりました。今回、根管充填は、微膨張性のシーラーを用いてマッチドテーパーシングルコーン法で行っていただきます。わずか数分で確実な根管充填を達成することができます。  
今回の卒後研修では、画像診断から始まる再根管治療にならないエンドイニシャルトリートメントのコツについて身につけていただければ幸いです。
4. 実 習 ①歯冠付き上下大白歯透明根管模型の拡大形成(NiTi ファイル)  
②デンタルエックス線撮影と読影  
③根管充填(マッチドテーパーシングルコーン法)
5. 実習材料費 20,000円
6. 担 当 者 北村 和夫教授(附属病院総合診療科1), 河合 泰輔教授(歯科放射線学講座)および医局員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2503, 2598



### 3. 日本大学歯学部

#### ◎保存学教室修復学講座 申込番号：3-1

1. 期 日 令和6年7月25日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ **コンポジットレジン修復の理論と臨床テクニック**  
内 容 (1) 最新の歯質接着の考え方  
(2) 臼歯部へのコンポジットレジン修復  
(3) 前歯部修復の理論とその実際  
(4) 歯科における色調再現の理論  
(5) レジン修復における実践テクニック
3. 研修の特徴 ミニマルインターベンションという治療概念が歯科臨床に導入され、これまでの金属修復物を用いた歯科治療にかわって、コンポジットレジンを用いた審美治療が広く普及してきました。失われた機能と審美性を、優れた歯質接着システムと高い機械的性能を持ったコンポジットレジンを用いて回復することができるようになりました。コンポジットレジンとは、歯質と同様の色調を有する審美修復システムとして改良が続けられ、毎日の歯科診療に欠くことができないものとなっています。  
さらに、コンポジットレジン修復について、接着性レジンに関する基礎的事項ならびにその臨床応用について、審美歯科の立場から概説する予定です。また、臨床テクニックを、実習を行うことでこれを体得していただきます。  
この研修では、審美性の高いレジン充填に必要な理論と実践を、バランスよく理解できることを主眼として構成されています。受講後には、臨床に反映できる知識とテクニックが必ず身につくはずです。
4. 実 習 ① Class II レジン修復  
② ダイレクタラミネートベニア修復  
③ Class IV レジン修復
5. 実習材料費 15,000円
6. 担当者 宮崎 真至教授および講座員
7. 受講定員 40名
8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音×
9. 研修コード 2605, 2698

#### ◎歯科補綴学第I講座 申込番号：3-2

1. 期 日 令和6年8月1日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ **軟質裏装材による下顎高度顎堤吸収症例への対応**  
内 容 (1) 動的印象及び下顎高度顎堤吸収症例の対応に関する講義  
(2) 動的印象後の義歯を用いて作業用模型の製作  
(3) リライジングと軟質裏装材を用いた間接リライン  
(4) 総括
3. 研修の特徴 近年、下顎無歯顎症例では、高度顎堤吸収を呈す患者に遭遇することが多くなってきており、総義歯製作過程の印象採得が困難となる症例も少なくない。このような現状において、総義歯の新製作時や裏装時では、機能圧の付与だけでなく、患者自身が印象採得を行なう意味合いを含む動的印象は効果的な手法である。本研修では、この機能印象を中心とした講義をはじめに受講し、義歯裏装前の対応を習得する。  
また、高度顎堤吸収症例は顎堤による義歯の維持力の獲得が困難であり、さらに菲薄した粘膜を呈すことが多いことから、患者が義歯装着時の疼痛を訴えることが多い。よって硬質材料より緩衝作用が高い軟質裏装材の使用は効果的であるため、本研修では動的印象後の義歯より作業用模型を製作した後に、軟質裏装材を使用した間接法による裏装を実際に行なう実習とする。以上の過程によって、受講者の高度顎堤吸収症例への対応の一助となることを特徴とする。
4. 実 習 ① 下顎高度顎堤吸収症例への現在の対応に関する講義を受講  
② 動的印象後の義歯を用いてボクシングし作業用模型を製作  
③ リライジングに義歯と模型を装着する  
④ 粘膜調整材を除去し、軟質裏装材を用いて間接リライン施行  
⑤ 形態修正  
⑥ 総括としてまとめの講義
5. 実習材料費 20,000円
6. 担当者 飯沼 利光教授および講座員
7. 受講定員 24名
8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音×
9. 研修コード 2608, 2698

◎**歯科補綴学第Ⅲ講座** 申込番号：3-3

1. 期 日 令和6年8月8日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き

2. 研修テーマ **必見！エビデンスから得られた最先端メタルフリー修復**

～症例選択から接着技法まで～

- 内 容
- (1) 最先端のメタルフリー修復の適応と特徴について(講義)
  - (2) ジルコニアの特徴を生かした補綴臨床について(講義)
  - (3) CAD/CAM冠, ジルコニア接着ブリッジのための支台歯形成(実習)
  - (4) 口腔内スキャナーを用いた光学印象 CAD/CAMを用いたクラウン製作(実習, デモ)
  - (5) CAD/CAM冠, ジルコニア接着ブリッジの接着と術後管理(実習)
  - (6) 質疑応答

3. 研修の特徴 歯科用CAD/CAM技術の発展により, CAD/CAM冠用レジンブロックやジルコニアなどの歯冠色材料がクラウンなどの修復処置のみでなく, ブリッジやインプラント上部構造など欠損部に対する補綴治療にも応用されています。昨今, メタルフリー修復物が注目されていますが, 長期にわたり安定した治療結果を得るには, 適切な症例選択や各材料に対する臨床術式を理解し, 正しく実践することが重要です。また, 近年ではデジタル技術を応用した口腔内スキャナーを用いた光学印象, さらにCAD/CAMシステムでの補綴装置製作が著しく普及しています。

本研修では, 保険収載されている前歯部CAD/CAM冠, ジルコニア接着ブリッジ, さらに口腔内スキャナーによる光学印象について講義および実習を行ないます。CAD/CAM冠用レジンブロックおよびジルコニアの材料の特徴, 実際の臨床操作(主に, 支台歯形成と補綴装置の接着方法), さらに臨床成績から見えてくる臨床での注意点などについて, 臨床に直結した研修を行ないます。先生方の明日からの臨床に役立つように, 簡潔でわかりやすい研修を行ないたいと考えています。

4. 実 習 ①メタルフリー修復物の支台歯形成および接着

②口腔内スキャナーによる光学印象

5. 実習材料費 15,000円

6. 担 当 者 小峰 太教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2603, 2698

◎**付属歯科病院顎関節症科・ペインクリニック科** 申込番号：3-4

1. 期 日 令和6年8月22日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き

2. 研修テーマ **顎関節診療の正しい知識と最適なマネジメント**

- 内 容
- (1) 顎関節症診療に必要な基礎知識(講義)
  - (2) 顎関節症に対する適切な診査・診断(講義・実習)
  - (3) 顎関節症に対する適切なマネジメント(講義・実習)

3. 研修の特徴 学生時代に習った顎関節症治療といえば, 咬合治療やスプリント治療, 薬物療法などの医師主導型の治療ばかりではなかったでしょうか。ここ20年の間に, 顎関節症診断・治療に対する考え方が変遷し, EBMに基づいた保存的かつ患者主導型の治療が主として行なわれるようになりました。

本研修は, 最新の顎関節症に対する包括的知識修得を目的としています。基礎知識, 診査・診断, マネージメントを3本柱とし, 基礎知識の項目では解剖学等を始め, 顎関節症の病態や診断基準の知識を得ていただきます。これをもとに, 診査・診断の項目では, 口腔内外診査を中心とした初診時の診査・診断の講義と実習を予定しています。マネージメントの項目では, 明日からできるようなセルフケア, 理学療法や日常生活管理の講義と実習を行ないます。

4. 実 習 口腔内外診査実習, ウェアラブル筋電計を用いた睡眠時ブラキシズム評価, 画像診断実習, 理学療法実習を予定。

5. 実習材料費 7,000円

6. 担 当 者 新井 嘉則教授(歯科放射線学講座), 野間 昇教授(口腔内科学講座)および講座員

7. 受講定員 48名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2802, 2898

## 4. 東京医科歯科大学歯学部

### ◎摂食嚥下リハビリテーション学分野 申込番号：4-1

1. 期 日 令和6年7月4日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ TMDU式 摂食嚥下リハを学ぶ！！  
内 容 (1) 摂食嚥下リハ総論(講義)  
(2) 歯科訪問診療での摂食嚥下リハ(講義)  
(3) リハで役立つ、口腔機能評価と口腔内装置(舌圧、構音、PAP、Voice Retrieverなど)(講義)  
(4) 嚥下内視鏡、食形態調整(とろみづけなど)(実習)  
(5) 口腔機能、口腔内装置実習  
(6) グループワーク(専門歯科医師などとの連携を学ぶ)

3. 研修の特徴 最近、お茶でむせて、と患者さんから相談されたことはありませんか。年のせいで、とうやむやにいませんか。高齢者の4名に1人が摂食嚥下障害という、この超高齢社会で、摂食嚥下を避けながら歯科診療する難しさを感じていませんか。

水分のむせを相談されたら、飲み方、とろみづけ指導など、精密検査なしでもできることはたくさんあります。義歯の口蓋部を少し厚くするだけで、食事がだいぶ楽になる患者さんもいます。私たちの些細な助言や治療が、患者さんの生活を大きく変える可能性があります。

一から勉強することが面倒ならば、大学病院の専門歯科医師との連携も考えてみませんか。摂食嚥下障害に関わるすべての課題を先生お一人で対応する必要はなく、できることから始めることが行動変容の第一歩。新開発した発声補助装置「Voice Retriever」についてもご紹介します。本研修では、明日から活かせる摂食嚥下リハ、専門歯科医師などとの連携のコツをお伝えします。

4. 実 習 ①嚥下内視鏡実習  
②とろみつけ実習、嚥下調整食実習  
③舌圧などの口腔機能、舌接触補助床などの口腔内装置実習  
④グループワーク(摂食嚥下リハで大学病院と効果的な連携)

5. 実習材料費 10,000円

6. 担当者 戸原 玄教授および講座員

7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 3407, 3498

### ◎歯周病学分野 申込番号：4-2

1. 期 日 令和6年9月19日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ 歯周治療における Er:YAG レーザーの応用  
内 容 (1) 歯周組織に対する Er:YAG レーザーの効果(講義)  
(2) Er:YAG レーザーによる各種歯周治療の効果(講義)  
(3) 歯周組織に対する Er:YAG レーザーの照射法の習得(実習)

3. 研修の特徴 Er:YAG レーザーは硬組織および軟組織の両者を効果的に蒸散できるため、歯周治療に効果的なレーザーです。軟組織治療では、歯肉の切開切除や形態修正を最小限の熱傷害で安全に効果的に行なうことができます。ポケット治療では、本レーザーを従来の SRP に複合的に応用した包括的歯周ポケット治療(Er-LCPT)を開発し実施しています。

この方法では、flapless surgery としてポケット内部の徹底的なデブライドメントを行なうことにより、良好な治癒が得られるだけでなく、さらには歯槽骨の再生も期待されます。フラップ手術では、骨欠損部のデブライドメントがより容易に確実となり、術後の良好な治癒が得られ、再生治療への応用でも良好な骨再生が認められています。

本研修では、各種レーザーの基本的な特徴を含め Er:YAG レーザーの効果について基礎的研究結果を理解し、臨床応用にける効果を確認し、ブタ下顎などを用いた歯周組織への照射実習を実際に行ない、基本的なレーザー治療の術式を学んでいただきます。また、一部で各種レーザーの実習も行ないます。

4. 実 習 抜去歯、ブタ下顎などを用いた歯周組織への Er:YAG レーザーおよび各種レーザーの照射実習。

※白衣、歯肉縁下歯石の付着した抜去歯、日常の臨床で使用しているポケット探針、メスホルダー、骨膜剥離子、グレーシー型キュレットスケーラー(7-8番または5-6番、できれば刃部が小型のもの)をご持参ください。

5. 実習材料費 15,000円

6. 担当者 青木 章教授および講座員

7. 受講定員 24名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2504, 2598

◎歯髄生物学分野 **申込番号：4-3**

1. 期 日 令和6年9月29日(日) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ **エビデンスに基づくベーシックエンド+α**  
内 容 (1) 歯内療法におけるケースアセスメント  
(2) あらためて歯根と根管を考える ～根管形態への対応  
(3) NiTi ロータリーファイルを使いこなす  
(4) マイクロスコープは歯内療法のトラブルシューター  
(5) MTA のエビデンス  
(6) 難治症例への対応
3. 研修の特徴 近年、NiTi ロータリーファイルの開発、手術用実体顕微鏡や歯科用CTの導入など、歯内療法の器材・術式は著しく進歩しており、そのグローバルスタンダードが大きく変貌を遂げています。  
ところが、これらの真価はエビデンスに基づき確立されたトラディショナルな理念や術式とのコンビネーションにより、はじめて発揮されるともいえます。そこでこの研修では最新機材を駆使した臨床を紹介することはもちろんですが、トラディショナルな器材術式にも十分配慮した、教科書プラスアルファの内容ではあるものの、評価がある程度定まった手堅い情報をお伝えしたいと思います。  
また顕微鏡での実習、MTA や2種類のニッケルチタンファイルを用いた実習は、皆様の明日からのエンド臨床に必ず役立つと思います。
4. 実 習 ①歯科用顕微鏡およびMTA  
②2種類のNiTi ファイルを用いた歯内治療実習
5. 実習材料費 20,000円
6. 担 当 者 興地 隆史教授および講座員
7. 受講定員 36名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2503, 2598

◎口腔デジタルプロセス学分野 **申込番号：4-4**

1. 期 日 令和6年10月10日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ **はじめてみよう！デジタルデンチャー・インプラントオーバーデンチャー (IOD)**  
内 容 (1) 全部床義歯におけるデジタル活用(講義)  
(2) 口腔内スキャナを用いた義歯スキャン(実習)  
(3) デジタルデンチャー・IODにも必要な全部床義歯の基礎知識(講義)  
(4) コンパウンドを用いた全部床義歯の辺縁形成(実習)  
(5) IOD 総論とアタッチメントの種類(講義)
3. 研修の特徴 デジタルデンチャー、IODの基礎知識を学び、実習を通じて明日から実践できる義歯臨床のコツを身につけていただける研修です。従来の全部床義歯製作は手間や時間がかかる上、患者の高齢化が進み、対応が困難なケースが増加していると考えられます。そこで、これからの全部床義歯治療に取り入れたいのが、デジタルやインプラントです。  
デジタルと聞くと難しいイメージがあるかもしれませんが、始めての方でも大丈夫です！本研修では口腔内スキャナを利用して簡単に義歯の3Dデータを取得する方法を研修していただきます。また、IODの概要とさまざまなアタッチメントの取り扱いについても解説します。しかし、デジタルデンチャーやIODにも全部床義歯の基本が必要となります。そこで、印象の基本となる辺縁形成についても実習していただきます。
4. 実 習 ①口腔内スキャナ(Trios, 3shape)を用いて、義歯スキャンを実践する。  
②無歯顎粘膜模型とマネキンを用いて、個人トレーにコンパウンドを使用して全部床義歯製作における辺縁形成を行なう。  
実習で使用した模型と個人トレーは持ち帰っていただきます。  
※小刀は各自ご持参ください。
5. 実習材料費 10,000円
6. 担 当 者 金澤 学教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2608, 2698

## 5. 昭和大学歯学部

### ◎歯科矯正学講座 申込番号：5-1

1. 期 日 令和6年6月23日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ 知っておくべきマウスピース矯正の基礎からその限界まで  
内 容 (1) アライナー治療に関する基本情報  
(2) アライナー型矯正装置の力学解析  
(3) 問題症例から考える  
(4) リカバリー方法
3. 研修の特徴 コーンビーム X 線 CT や光学印象, アライナー矯正装置など様々なコンピュータ関連技術が矯正歯科診療にも浸透しつつあります。  
とくに, アライナー矯正は, その審美性の高さから社会における矯正治療の普及に大きく寄与しております。しかしながら, その普及とともに, 問題症例も数多く発生し, 消費者センターや学会への相談や訴訟件数も増加して, 社会問題化しております。  
この解決のためには, 術者に, 1) バイオメカニクスを基盤とした顎顔面の診断能力, 2) アライナー特有の移動メカニクスに関する理解, 3) デジタル化されていない生体反応を推測するための経験, 4) 不測の事態のリカバリー技術や思考の柔軟性, などがが必要です。  
本研修では, 矯正診断の基礎となる顎顔面のバイオメカニクス(生体力学)からアライナー矯正の特殊性や失敗症例, そして, トラブルシューティングの方法などを紹介させていただきます。
4. 実 習 ①ワイヤーベンディング実習  
②アライナートラブルシューティング実習
5. 実習材料費 20,000円
6. 担当者 榎 宏太郎特任教授, 中納 治久教授および講座員
7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2905, 2998

### ◎口腔機能管理学講座 申込番号：5-2

1. 期 日 令和6年8月18日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ 下顎総義歯難症例への対応  
内 容 (1) 総義歯の形をイメージする(講義)  
(2) 下顎総義歯に与える咬合の基本(講義)  
(3) だめな義歯をよい義歯に修正する(実習)  
(4) 模型からよい義歯の形をイメージする(実習)  
(5) 難症例でも採れる概形印象のコツ(講義・実習)
3. 研修の特徴 超高齢社会を迎え, 顎堤が吸収し, 下顎位が不安定な総義歯難症例が増加しています。さらに要介護状態にあることも多く, 訪問診療での対応が必要になることも少なくありません。限られた器材・人・時間と制約の多い環境の中で, どのように無菌顎難症例に対応すればよいのでしょうか。そもそも総義歯は「湖に浮かぶボート」と例えられるように, 粘膜の上に義歯床と人工歯が乗っているシンプルな補綴装置です。昨今, 特別な道具や複製義歯を用いる術式がもてはやされることもあります, 大事なことは「〇〇法」を使うことではなく, その方法を使って製作する「よい義歯」のゴールが見えていることです。補綴治療はエラーの積み重ねですから, 複雑な術式や優先順位の低いものにこだわることはやめて, できるだけシンプルな診療であるべきです。  
本研修では, 総義歯の形態をまず頭で理解し, よい義歯の三次元的形態を実習で確認して頂きます。その上で, マル模でのよい義歯のイメージ方法, 概形印象の採り方のコツなど, 難症例でも使える総義歯の咬合の基本など, 臨床ですぐに使える知恵と技について学んで頂きます。
4. 実 習 ①義歯の形態修正実習(だめな義歯からよい義歯へ改造)  
②研究用模型への義歯概形の記入実習(すべての基本)  
③無菌顎の概形印象採得実習(急がばマル模)  
※実習で用いた複製義歯と研究用模型, ディスポ無菌顎トレーはお持ち帰り頂けます。  
先生方の総義歯臨床における「よい義歯」の見本として, お使い頂ければ幸いです。
5. 実習材料費 18,000円
6. 担当者 古屋 純一教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2608, 2698

◎**歯科保存学講座** **歯内治療学部門** **申込番号：5-3**

1. 期 日 令和6年9月1日（日）午前10時～午後5時

2. 研修テーマ **ベーシックエンドを極める**

- 内 容 (1) 歯根と根管の解剖  
(2) 根尖性歯周炎とは  
(3) 根管治療の基本手技  
(4) 根管治療の難症例対策  
(5) マイクロスコープの有用性

3. 研修の特徴 歯内治療の分野は、マイクロスコープやコーンビームCTの導入、NiTiファイルの進歩などによって、近年大きな進化を遂げてきており、歯内治療の専門性は以前よりも高まっています。一方で、難治症例にお困りの先生方も数多くいらっしゃると思います。最新器材を使用しても、歯内治療の基本はやはり無菌的処置と徹底した根管内の清掃であることに変わりはありません。

本研修では、なかなか話を聞く機会が少ない歯内治療の基本的な手技や考え方について、現在のスタンダードといえる方法を改めて確認していただいたうえで、実際に歯牙模型を使用したベーシックな実習を行なっていただきます。実習では適宜マイクロスコープを用いて確認することも可能です。また、大学病院での症例をもとに、マイクロスコープやコーンビームCTを活用した難症例への対応についてもご紹介させていただきたいと思います。本研修における講義、症例供覧そして実習は、皆様の明日からのエンド臨床に必ず役立つことと思います。

4. 実 習 歯牙模型を用いた根管形成実習  
(ラバーダム防湿、髓腔開拓、手用ファイルを用いた根管形成)  
適宜マイクロスコープによる観察も行ないます。

5. 実習材料費 20,000円

6. 担 当 者 鈴木 規元教授および講座員

7. 受講定員 32名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2503, 2598

◎**インプラント歯科学講座** **申込番号：5-4**

1. 期 日 令和6年9月15日（日）午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き

2. 研修テーマ **インプラントトラブルのリカバリーと予防策**

- 内 容 (1) 現代のインプラントトラブルの特徴  
(2) 外科的トラブルとリカバリー法  
(3) 補綴学的トラブルとリカバリー法  
(4) インプラント周囲炎とその対応  
(5) 患者クレームへの対応  
(6) インプラントトラブルの予防策

3. 研修の特徴 本研修では、「インプラントトラブルのリカバリーと予防策」をテーマに前半は、現代のインプラントトラブルの特徴について解説していくとともに、サイナスリフトやGBR等の外科的トラブルやインプラント体破折やスクリュー破折等の補綴学的トラブルとリカバリー法について臨床写真や動画を交えて解説します。

さらに後半では、現代のインプラントトラブルの問題にもなっている最新の治療方法（all-on-fourに代表される即時荷重や抜歯即時埋入、ソケットプリザベーションや軟組織移植等）の適応選択と問題点、外科手技に応じた骨移植材料の選択方法、長期予後を脅かすインプラント周囲炎に対する新しい診断基準と治療方法、訴訟や患者クレームに関わる同意書作成のポイントや保証の在り方について解説するとともに、顎模型を用いた外科実習（インプラント周囲炎治療やGBR）を実施していきます。

4. 実 習 事前に製作したインプラント周囲炎を想定した顎模型を使用し、骨欠損に対応したデブライドメントやプラスティ、再生療法について講義とともに行ないます。

5. 実習材料費 20,000円

6. 担 当 者 宗像 源博准教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2609, 2698

# 130<sup>TH</sup> ANNIVERSARY since 1893

## 卒後研修への申込方法

### 【都歯オンライン研修（としけん）アプリからお申し込みの場合】

アプリ下段中央の「イベント」よりお申し込みください。



### 【WEBからお申し込みの場合】

本会ホームページ（   ）の「イベント・講習会等情報」を

クリックして「参加申し込みフォーム」よりお申し込みください。



こちらからも  
研修会のお申  
込みができます

### 【FAXでのお申し込みの場合】

本冊子 p. 1，もしくは本会会誌3月号・4月号の申込書へ必要事項をご記入の上、

FAX（03-3262-4199）でお申し込みください。

